



毎日の生活に、
「健康元気」を
お届けします。

CORPORATE PROFILE2023

ヤマザワ 会社案内 2023



TOP MESSAGE

代表ご挨拶



弊社は、昭和27年に山形県東根市神町に山澤進（現 名誉会長）が開業した「山澤薬局」を創業とし、昭和37年山形駅前に県内初となる本格的なスーパーマーケットを開店いたしました。

それから令和の時代の現在に至るまで、たくさんのお客様のご愛顧とお取引様のお力添えを賜り、創業から70年、スーパーヤマザワの設立から60年を越えて歩んできました。

これからも「お客様の毎日の暮らしに役立ちたい」という初心を忘れず、変化する時代の中での確かな経営戦略の立案と着実な実践に努め、グループ経営理念に基づき全力を尽くしてまいります。

代表取締役会長 **山澤 廣** YAMAZAWA HIROSHI (写真左)

代表取締役社長 **古山 利昭** FURUYAMA TOSHIAKI (写真右)

GROUP MANAGEMENT PHILOSOPHY

ヤマザワグループ経営理念

ヤマザワグループは、お客様に安心と豊かさを提供し、地域の健康元気を応援するとともに、従業員一人一人が輝く企業を目指します

GROUP MANAGEMENT VISION

目指す姿 『地域に愛される、健康元気な100年企業を目指す』

MANAGEMENT PLAN

第3次中期経営計画(2022年3月~2025年2月)

1 本計画の目的、位置付け

- (1) ヤマザワグループが、100年企業を目指し、基盤を磐石にする3年間
- (2) 安定収益を生み出す企業を目指す

2 2025年の目標数値

グループ営業収益	1,050 億円	
経常利益	16 億円	
経常利益率	1.5%	
店舗数	SM 事業	73 店舗
	ドラッグ事業	80 店舗

※収益認識会計基準適応後の数値

3 重点課題

- (1) **顧客の創造**
商品開発：地元商品開拓・ヤマザワブランドの開発と地産地消推進
設備投資：スクラップ&ビルドと既存店活性化：デリカセンター
- (2) **新たな生産性の獲得**
DX推進：付加価値業務への人的資源集中とITインフラ整備
商品教習体制の構築：デリカセンター活用・物流改革
- (3) **サステナビリティ**
地域貢献：食育事業と自治体との連携
環境対策：CO²排出量・食品ロス削減
働きやすい環境整備：女性管理職登用推進
- (4) **人材の育成**
全員戦力化：現場スキル強化・学習による素養向上
教育制度改革：教育ツールのIT化
- (5) **組織風土改革**
コミュニケーションの良い風土づくり：「さん」づけ運動
全員参画：TQM推進
- (6) **組織基盤整備**
グループシナジーの追求：業務・仕入・商品供給体制効率化
健康経営優良法人認定取得：ワークライフバランスへの取組

商品 | PRODUCT

お客様に安全な商品と美味しさを簡単便利にお届けするため、商品と店づくりにこだわっています!!

地産地消の促進

山形・宮城・秋田の地元の素材・地元製造の美味しさにこだわった商品をセレクト。自慢の唯一無二の美味しさをお届けし、地域を盛り上げます。



地場野菜コーナー
地元生産者が収穫した新鮮野菜を提供します。



お魚屋さんのお寿司
旬の素材にこだわった、鮮度抜群のオリジナル商品です。旬の美味しさを提供します。

ヤマザワオリジナルのタレは鹿児島県産宗田節、焼津産荒本節、利尻昆布から出汁をとり、濃口醤油と本みりんを合わせたことで、風味の良いコクのあるタレに仕上げました。熟成三元豚のロースカツを卵でとじ、丁寧に調理しています。

味にこだわったオリジナル商品

各コーナーでは美味しさと鮮度こだわったオリジナル商品を提供しています。また、季節に応じた素材を使用した商品開発を強化しています。



簡単便利商品

お客様のニーズの変化に対応し、レンジアップ商品や冷凍食品など、保存期間が長く、簡単便利に調理が可能な加工食品の品揃えを拡大しております。



サービス | SERVICE

お客様により満足いただくために、様々なサービス提供に取り組んでいます。

パンフレットによる予約販売

地元ならではの美味しい商品を全国の皆さんにお届けるために、果物やギフトを中心にパンフレットによる予約販売を強化しております。



販売促進



今週の一品
精肉・青果・鮮魚・惣菜・日配・菓子の6部門で一週間毎に1品商品を選定し、お客様に旬の商品や新商品を紹介します。

旬やテーマに応じた販売企画

旬や時季に応じて自信を持ってお勧めする商品や企画を、店頭で掲示、それに連動した売場を大々的に展開することで、お客様に購買意欲の向上とインパクトを与えます。



ポイントカード「にこか」

ヤマザワオリジナルの電子マネー付きポイントカード「にこか」。現在のカード会員は71万人を越えました。上手にポイントを貯めて買物をよりお得に。

にこかカード利用率(直近3年実績)	
令和4年度	77.8%
令和3年度	79.9%
令和2年度	80.7%

その他のサービス



フードサービス&ベーカリー
店舗の出店・改装にあわせてフードサービス&ベーカリーを増設しております。インスタ調理ならではの美味しさを提供します。



イートインコーナー「憩いの場」
店内で購入した商品を召し上がっていただく場所として、また地域のコミュニケーションの場所として利用できます。



出店戦略

BRANCH STRATEGY

既存店の活性化を進めながら、新規出店を慎重に見極め、永続的な会社の成長につなげる出店戦略を実行します。

令和5年3月1日 ヤマザワ よねや ヤマザワとよねや商事 合併

店舗数・出店エリア

(令和5年6月1日現在)

山形県 **43** 店舗
宮城県 **19** 店舗
秋田県 **8** 店舗
合計 **70** 店舗



ヤマザワ長岡店



令和5年2月16日(木)開店

売場面積667坪
43年営業の既存店を移転新築
売場面積を大幅に拡大し品揃え拡大
と最新のサービスを提供

ヤマザワ川西メディカルタウン店



令和5年4月22日(土)開店

売場面積580坪
置賜メディカルタウン計画(川西町の
地域プロジェクト)の商業区域の中核
を担う

人材育成

UPBRINGING OF THE TALENTED PERSON

「OJT教育強化とOFF-JT教育の体系化」を実践しています。

入社からの流れ

入社年数	1年目	2・3年目	3年目以降	5年目以降
役職(目安)	各店舗 部門担当者		部門チーフ	副店長 本部バイヤー 本部マネジャー 店長
研修制度	月1回 新入社員集合研修	フォロー研修	中堅育成・社外セミナー	
	ローテーション研修	部門別研修	チーフ研修	リーダーズキャンプ 店長会議研修
	各種研修・勉強会・個別研修			
通信教育・資格取得等による自己啓発の推進				

新入社員研修

(1) ローテーション研修

4月に入社してから5ヶ月の間に、主要部門である青果、精肉、鮮魚、惣菜、グロスアリー（日記・一般食品・家庭用品）、接客サービス（レジ）の6部門を体験するローテーション研修を実施しています。



先輩社員がアドバイス！
一緒になって知識の取得と問題解決に努めます。

(2) 新入社員集合研修

入社後定期的に行い、専門知識を持つ社内講師による知識教育を定期的に行っています。またグループワークによるコミュニケーション研修に力を入れています。新入社員自らが中心となって計画・実施・確認・検証（PDCA サイクル）に従い、売場作りを行います。同期社員との情報交換の場にもなります。



今週の一品チャレンジ

(3) 正式配属

ローテーション研修終了後、その体験を経て本人の希望と適性を見極めて配属部門を決定し、正式配属となります。



正式辞令交付式

部門別研修

部門毎にカリキュラムがあり、段階に応じたOJT・OffJTを通して、部門チーフを目指すための数値管理・販売テクニック・考え方を学んでいきます。



本部のトレーナー、バイヤーが各店舗を巡り、現場での実務指導を行います。

その他勉強会・研修

- 部門ごとにトレーナーが巡店実務指導を行い、新たな視点を発見し、問題解決力向上を支援します。
- WEB研修や外部研修を積極的に取り入れ、個々に応じた育成を行っています。
- 1年かけて行うリーダーズキャンプは、リーダーとしてのマネジメント力を身につけ、社内ネットワークを強化するきっかけとなります。
- 各部署や店長会議研修を積極的に行っています。組織として新たな課題を共有し、互いに学び合う風土を醸成しています。



店舗の部門担当、チーフとしての実務経験の他、上記の各種研修・勉強会を通して「食品表示検定」・「衛生管理者」・「調理師」・「リテールマーケティング検定」・「メンタルヘルスマネジメント検定」などの資格取得、知識・技能の向上をサポートします。その後、能力・適性により店長、バイヤー等への道を目指します。

 地域貢献

安心して快適に暮らせるふるさとを目指して



ヤマザワ教育振興基金による地域貢献

将来を担う子供たちの健やかな成長へのお役に立てばという思いから、公益財団法人ヤマザワ教育振興基金を通じて、山形大学学生への奨学金支給、出店した地域の小中学校への教育機材の助成、高等学校へのスポーツ活動支援、地域スポーツイベントへの寄贈を毎年実施しています。

ヤマザワ教育
振興基金実績
(令和5年6月1日実績)

基金設立
昭和62年

寄贈先実績
643校 38団体

寄贈金額実績
3億55.2百万円



地域イベントへの参加と開催、
地元プロスポーツチームへの支援



山形県女子駅伝大会やちびっ子マラソン大会・ファミリーミュージカル等のイベントやリトルリーグ野球大会等の開催。また、地元山形の花笠祭りや日本一の芋煮会、各地のマラソン大会等の地域イベントへの協賛並びに地元プロスポーツチームへの支援を通じ、地域活性化と地元の方々とのつながりを大切にしています。



移動スーパー「とくし丸」

日常の買物が不便な方々が増加する中、日常生活を支援するため、移動スーパー「とくし丸」事業を拡大。令和5年6月現在山形県内11台、秋田県内9台稼働中。

食育活動・収穫体験の開催



一般の方や幼児を対象に、食に対する教育の一環として、提携農場や地元食品加工工場を中心に収穫や工場見学を実施し、地元商品の美味しさや安全性を学ぶ場を提供しています。

自治体との災害協定締結

台風や地震・水害等の災害が増加する中、出店エリアを中心に自治体との災害協定締結を積極的に実施し、災害発生時に食料品や生活必需品の供給を中心に自治体を支援しております。



献血活動の推進

地域医療への貢献活動の一環として、店頭駐車場で献血バスによる献血活動を積極的に実施。

フードロスの削減
フードドライブの実施

家庭で食べきれない食品を店舗内の回収BOXで回収し、仙台市や富谷市で実施している「フードドライブ」を通して、様々な団体へ寄贈しています。また、モンテディオ山形ホーム戦にて「フードドライブpresented by ヤマザワ」を開催。サポーターの皆さまにご協力いただきフードバンクへ94.6kg食品を寄付しました。
(令和5年3月19日(日))



職場体験活動

店舗での職場活動の受け入れを通して、未来を担う地域の子供たちの勤労観・職場観・自立心の育成を支援しています。



 環境保全

未来を担う子どもたちにより良い地球環境を引き継ぐために



再生可能エネルギーの利用

店舗に太陽光発電システムを導入。再生可能エネルギーの利用により、二酸化炭素(CO₂)の排出量削減を進めます。現在4店舗に導入済み。2023年までにさらに7店舗導入予定です。



資源のリサイクル



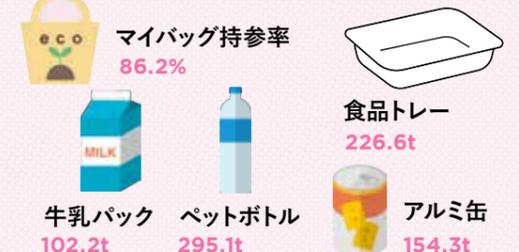
店頭のリサイクルBOXを設置、牛乳パック・発泡トレイ・ペットボトル・アルミ缶の回収を実施しております。また、レジ袋の削減のため「マイバッグ持参運動」の推進やエコ包装にも積極的に取り組んでいます。

廃棄物のリサイクル推進

魚アラ・肉脂・野菜くず等を回収し、飼料や肥料にリサイクルしています。全店の惣菜の揚物などで使用した『植物性食用油』もインク原料へとリサイクルしています。



資源リサイクル実績(2022年実績)



会社概要 (2023年6月現在)

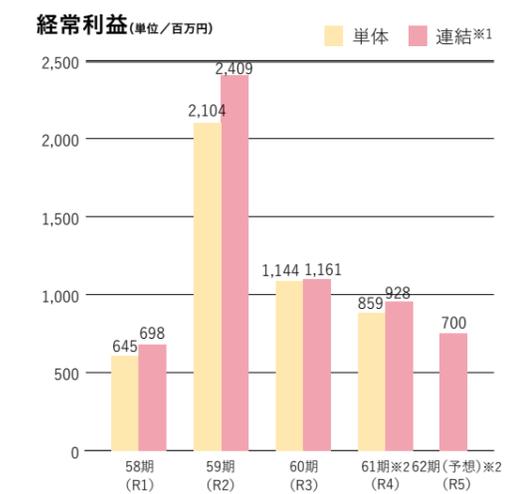
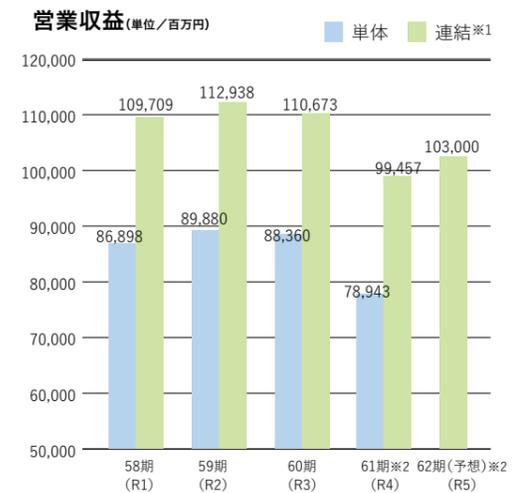
商号 株式会社ヤマザワ(YAMAZAWA CO.,LTD.)
 本社所在地 〒990-8585 山形県山形市あこや町三丁目8番9号
 TEL023-631-2211(代)
 ホームページ <https://yamazawa.co.jp>
 設立 1962年10月4日
 事業内容 食品スーパーマーケットを核とする小売業
 資本金 2,388百万円
 売上高 78,943百万円 (2023年2月期)
 店舗数 70店舗 (山形県43店舗・宮城県19店舗・秋田県8店舗)
 従業員数 865名 正社員以外2,563名
 上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
 (証券コード 9993)
 関連会社 株式会社ヤマザワ薬品
 株式会社サンコー食品
 株式会社ヤマザワ保険サービス

役員 (2023年6月現在)

代表取締役会長	山澤 廣 (㈱ヤマザワ薬品代表取締役会長)
代表取締役社長	古山 利昭 (㈱サンコー食品代表取締役社長)
専務取締役	上畑 日登美 (㈱ヤマザワ薬品代表取締役社長)
取締役	工藤 和久 (管理本部長)
取締役	柿崎 泰之 (営業本部長兼店舗運営本部長)
取締役	山本 哲也 (人事教育部部長兼情報物流部部長兼プロジェクト管掌)
取締役(社外)	高橋 一夫 (高橋一夫公認会計士事務所所長)
取締役(社外)	半田 稔 (半田稔法律事務所所長、㈱じもとホールディングス社外取締役)
取締役(社外)	高橋 修 (ネットヨタ山形㈱代表取締役社長)
常勤監査役	池田 正廣
監査役(社外)	川井 雅浩 (川井雅浩税理士事務所所長、㈱塚田会計事務所代表取締役)
監査役(社外)	廣瀬 渉 (フィデアホールディングス㈱社外取締役、㈱荘内銀行取締役)
執行役員	大場 正 (開発本部長)
執行役員	岡崎 雅則 (最上村山ブロック長兼寒河江プラザ店長)
執行役員	布施 清治 (宮城南ブロック長兼多賀城店長)
執行役員	瀧 幸法 (グロサリー商品本部長)
執行役員	庄子 泰央 (㈱サンコー食品取締役 新工場 PC 研究開発室長)
執行役員	藤本 英二 (財務・経営企画本部長)



業績 (2023年6月現在)



※1 連結には(株)ヤマザワ薬品、(株)サンコー食品の実績を加えています。
 ※2 61期実績62期業績予想は「収益認識基準に関する会計基準」適用後の数値です。

沿革

- 1952年8月 山形県東根市神町に山澤薬局を創業
- 1962年10月 山形県山形市香澄町に株式会社ヤマザワを設立
- 1962年11月 駅前店(第1号店)を開店 食料品・雑貨・薬品・化粧品の販売を開始
- 1975年4月 豆腐、揚げ等の日配食品製造工場として、株式会社サンコー食品を設立
- 1981年3月 山形市とその周辺地域をドミナント化するため、株式会社スーパー今井を併合
- 1984年10月 宮城県第一号店として、泉ヶ丘店(仙台市泉区)を出店
- 1986年10月 寿司、弁当、惣菜の製造工場として株式会社サンフーズを設立
- 1987年9月 財団法人ヤマザワ教育振興基金(現 公益財団法人ヤマザワ教育振興基金)を設立
- 1992年11月 商品力強化を目的として、日本流通産業株式会社(ニチリウ)に資本参加
- 1994年9月 日本証券業協会の承認により、株式を店頭公開
- 2001年11月 ヤマザワポイントカード開始
- 2004年2月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2005年3月 東京証券取引所市場第一部に株式を上場
- 2012年3月 連結売上高 1000 億円到達
- 2014年2月 よねや商事株式会社(秋田県横手市)を完全子会社化
- 2015年10月 ヤマザワ独自の電子マネー「にこか」導入
- 2019年4月 取締役会の任意の諮問機関として「ガバナンス委員会」を設置
- 2020年5月 山形県鶴岡市に鶴岡宝田店を閉店し、鶴岡茅原店を新規移転出店
- 2020年12月 山形県河北町に谷地店を新規移設出店
- 2021年5月 宮城県仙台市に旧高砂店を建替え、中野栄店として出店
- 2022年4月 東京証券取引所新市場区分であるスタンダード市場へ移行
- 2022年11月 秋田県横手市によねや南店を新規出店
- 2022年12月 山形県中山町に中山店を建替出店
- 2023年2月 山形県天童市に長岡店を新規移転出店
- 2023年3月 よねや商事(株)を吸収合併
- 2023年4月 山形県川西町に川西メディカルタウンを新規出店

グループ企業

■ドラッグストア&調剤薬局 株式会社ヤマザワ薬品

少子高齢化によりセルフメディケーションと医療費の削減が求められ、業界における社会的意義は、年々その重要性を増しております。地域のお客様の「健康と美容」を支えるドラッグヤマザワは、ヤマザワとの隣接出店と単独店を出店しております。気軽に健康・美容・生活について相談できる店舗として、お客様より信頼して頂けるよう努めております。ヤマザワ調剤薬局は、高度な薬学的管理に対応するとともに、様々な患者様のニーズに応えられるよう「かかりつけ薬局・薬剤師」を目指しております。調剤業務の機械化、在宅業務、地域での健康セミナーの開催など、患者様中心の業務を心掛けております。



■日配及び惣菜商品の自社製造工場 株式会社サンコー食品

ヤマザワを中心としたグループ会社に牛乳、豆腐、納豆、蒟蒻、麺類などの日配食品と、米飯、寿司、惣菜商品を製造・供給する食品製造会社です。原料管理、温度管理、衛生管理が行き届いた工場にて、常に「安心・安全」「高品質」な商品提供に努めています。

2023年秋には既存工場の隣接地に新工場「デリカセンター」を稼働予定。惣菜商品の製造能力増強のほか、和菓子製造の強化や鮮魚のプロセスセンター機能を有し、アウトパック商品を供給拡大します。



■損害保険、生命保険の代理業務およびペット保険の引受保険会社 株式会社ヤマザワ保険サービス



株式会社ヤマザワ
〒990-8585 山形市あこや町三丁目8番9号
TEL.023-631-2211(代)
<https://yamazawa.co.jp>

ヤマザワは
「健康経営優良法人2023」
(大規模法人部門)に認定されました。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity